

三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課
編集／三原市本郷人権文化センター
所在地／三原市本郷町船木 3115 番地
電話／0848-86-3333
FAX／0848-86-3407

「みんなで考える人権講座」を開催します

わが国でも国際化が進み、外国籍住民が増えてきており、三原市も例外ではありません。しかしながら、文化や言語等の違いによる理解不足から、残念ながら偏見や差別につながることもあります。お互いに良き隣人として、それぞれの文化の違いを理解し、尊重し、ともに同じ社会や地域で生きていくことが求められています。

と き 11月6日（金）14:00～15:00

ところ 本郷人権文化センター 多目的利用室

演 題 「多文化共生社会の実現に向けて」

講 師 三原市人権啓発指導員 池田 彰夫 さん



文化祭に行こう（三原市人権文化センター）

と き： 11月8日（日）10時～14時

ところ： 三原市人権文化センター（長谷一丁目）

ステージ： 箏、太極拳、カラオケ教室、合唱、合奏、ダンス、吹奏楽

展 示： 絵手紙、書道、生け花、平和・人権パネル、長谷保育園児の作品、
沼田小学校・沼北小学校児童の絵画・書道

バザー： フランクフルト、コーヒー、みそ田楽、お好み焼き、もち粉団子ぜんざい、赤飯
うどん、焼きそば、から揚げ、焼き芋、地元野菜、生花、ひじき、リサイクル品

施設長のひとり言： 幕内最軽量だった藤ノ川関が小結とばして関脇に昇進。弟の淀渦は幕下4枚目。朝翠龍関が幕内にあがり最軽量。兄も幕内で軽量の朝紅龍関。若元春関と若隆景関、琴勝峰関と琴栄峰関について現役では3組目の兄弟幕内に。過去には若乃花関と貴乃花関、逆鉾関と寺尾関等の兄弟がいます。兄弟は同部屋が多いのですが、英乃海関と翔猿関兄弟は兄が木瀬部屋、弟が追手風部屋でした。異部屋でも兄弟であれば対戦しませんが、今までに1度だけ兄弟対戦があります。それは若貴兄弟の優勝決定戦での対戦です。結果は...

人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの人は、人権相談員にご相談ください。

相談は無料で秘密は守られます。

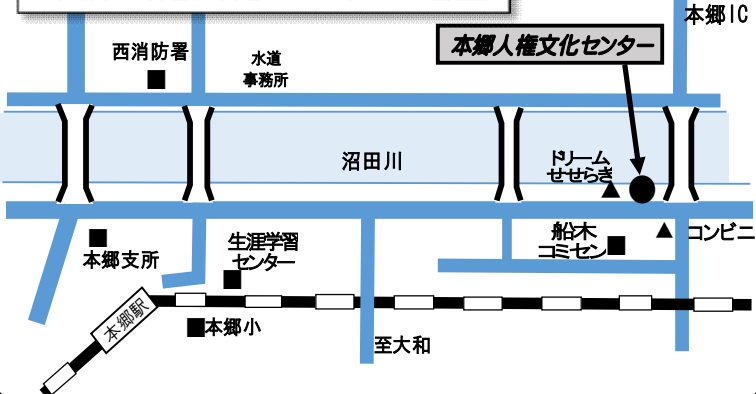
気軽に相談してください。

●と き 土・日・祝日は除く 10時～16時

●ところ 三原市本郷人権文化センター

●電 話 0848-86-3333

本郷人権文化センター略図



人権のひろば



「市の人権に関する計画・プラン(その1)」について紹介します。

【みはらこども・子育て応援プラン(三原市こども計画)について】

1. 計画の基本情報

●計画期間：令和7(2025)年度～令和11(2029)年度(5年間)

●基本理念(めざすまちの姿)：

笑顔でつながる、活き活きと明るい未来へ こども・子育て応援都市・みはらの実現
～ Our Favorite Place ～

2. 基本目標と主な取り組み(ライフステージ別)

① こどもの健やかな成長をライフステージに応じて切れ目なく支援します

- 妊娠前から幼児期まで：妊産婦や赤ちゃんの訪問、こども家庭センター「すくすく」の相談対応、保育所・認定こども園等の運営
- 学童期・思春期：児童館「ラブラフ」の運営、放課後児童クラブ、食を通じた健康づくり・学習機会の提供
- 青年期：中高生向けイベント、「二十歳のつどい」の開催

② こどもの権利を保障し、こどもが未来に希望を持って成長できる環境を整備します

- 「こども会議」の開催、図書館での読み語り行事
- 通学路の点検・安全対策、「こどもおしごとチャレンジ」の実施

③ 保護者が安心して子育てできる環境を整備します

- 新婚世帯への経済的支援、第2子以降の保育料・給食費の無償化
- 手当の給付、こどもの医療費負担軽減
- 母子手帳アプリ「すくすく」・市HP「みはら子育てねっと」による情報発信

3. 一体的な取り組み

① こどもの貧困対策

- 経済的困窮家庭のこどもの学び・生活・進学への影響を軽減するため支援します
- 教育・生活・就労・経済的支援：奨学金貸付、学習支援、生活相談、ひとり親家庭の再就職支援、医療費負担軽減など

② 若者支援

- 結婚・出産・就職などの希望を叶えるための環境づくりを行います
- 環境づくり・相談・居場所等：出会いの場の提供、結婚に関する経済支援、児童館運営、ヤングケアラー支援、意見表明(こども会議等)の機会確保など

10月10日 世界メンタルヘルスデー

世界メンタルヘルスデーは、メンタルヘルス問題への世間の意識を高め、偏見をなくして正しい知識を普及することを目的に、世界精神保健連盟が1992年に10月10日と決めました。

世界保健機関(WHO)も協賛する正式な国際デーです。不調に気づき、相談しやすい社会づくりや“人とのつながり”を大切にするため、毎年世界中でライトアップや啓発イベントが行われています。